基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（合併処理浄化槽）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	町民	目的	合併処理浄化槽の設置補助を行い、公共用水域の水質保全や生活環境の向上を図る。			
事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、合併処理浄化槽の設置整備に関する補助を行うことにより、生活環境の保全を図る。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0001　環境保全推進事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	425	1,593	1,753	11
	概算人件費	622	751	622	618
		1,047	2,344	2,375	629
国庫/県支出金		138	695	580	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.13 人	618 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		618 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合（%）	86	92	96	100	92
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

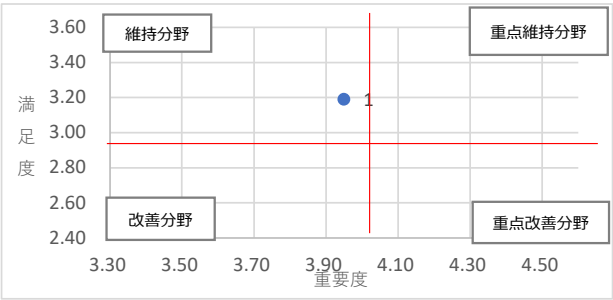
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

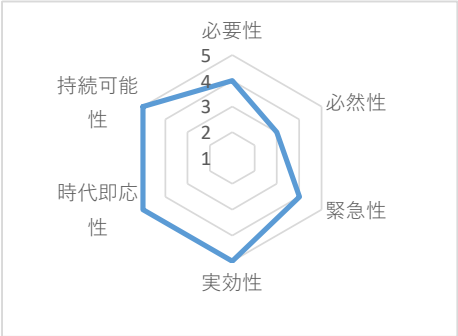
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□



成果・課題等	・平成30年度に制度化し、現在まで転換実績が少ない。 ・公共用水域の水質保全を維持するために、転換を促進する効果的な啓発が必要。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	美化推進事業（530（ゴミゼロ）キャンペーン　等）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民、事業者	目的	海岸清掃を実施することにより海岸をきれいにするとともに、海岸美化・海岸保全に対する意識向上を図る。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0002　美化推進事業
		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額		
トータルコスト	直接事業費	716	1,335	1,390	1,407		
	概算人件費	421	394	394	391		
		1,137	1,729	1,784	1,798		
国庫/県支出金		480	905	941	954		
その他		0	0	0	0		

R４概算人件費			
正規職員	0.08 人	391　千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		391　千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	美化財団海岸ごみ回収量（ｔ）	20	9	13	15	29
②	海岸５３０キャンペーン参加者数（茶屋海岸を含む）（人）	554	556	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	489

町民満足度調査結果（平成30年度）

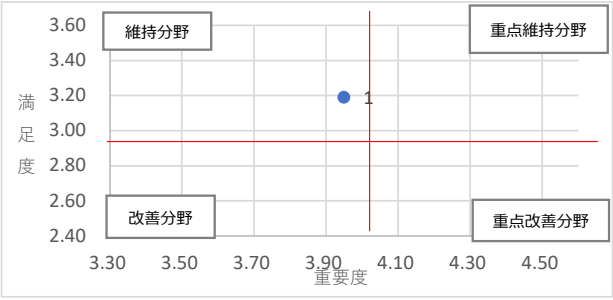
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

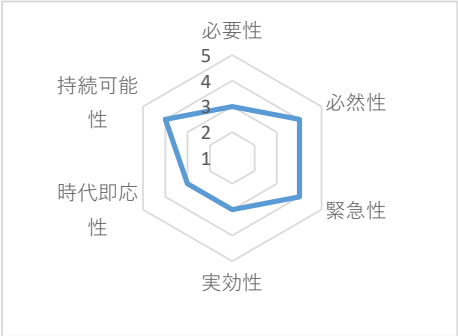
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・コロナの影響有り（開会式を実施しない） ・天候により、ごみ量が大きく変化する。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	動物の保護管理事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●	●	
事業対象	町民	目的	畜犬の適正管理、鳥獣被害の防止等により、人と自然が共生するまちづくりをめざす。			
事業概要	「狂犬病予防法」に基づく犬の登録及び狂犬病予防に関する事務を行うとともに、生活被害並びに農業被害の防止を図るため、有害鳥獣対策に関する事務を行う。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0003　動物の保護管理事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	635	530	774	758
	概算人件費	2,798	738	1,925	1,927
		3,433	1,268	2,699	2,685
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.27 人	1,210 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	717 千円	
その他	人	千円	
合計		1,927 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	有害鳥獣による生活被害件数（件）	5	17	29	46	31
②	狂犬病予防注射の接種率（%）	96	96	92	88	95

町民満足度調査結果（平成30年度）

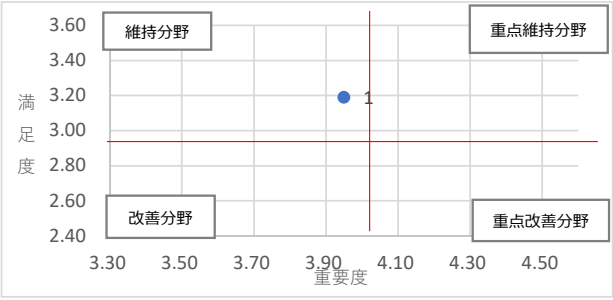
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境と生物多様性の保全	3.95	3.19
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

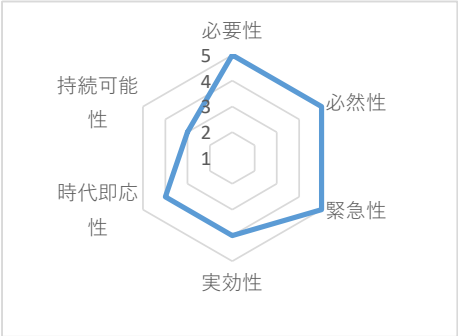
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□



成果・課題等	・畜犬の管理については適正に行なわれており、今後も現状を継続する。 ・有害鳥獣被害については、捕獲の現状を分析し効率的かつ効果的な対応策の検討が必要。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（地域環境推進員連絡会の開催）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		
事業対象	町民	目的	地域住民と町が協働のもとに、地域環境の保全を図るため、町内各地区における推進役として設置している。			
事業概要	地域環境推進員連絡会を開催し、地域環境推進員が町民と町のパイプ役なるよう、町の施策などについて理解を深めてもらう。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0002　美化推進事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	102	0	0	99
	概算人件費	－	－	229	228
		102	0	229	327
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.04 人	228 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		228 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	地域環境推進員連絡会の開催回数	2	2	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	2
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

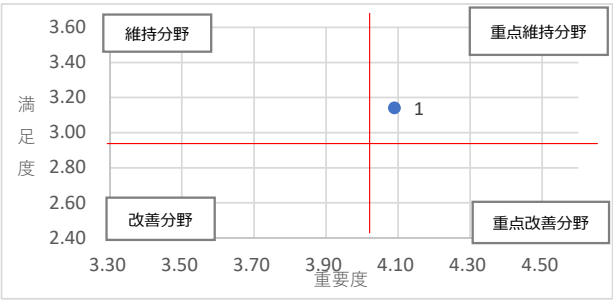
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

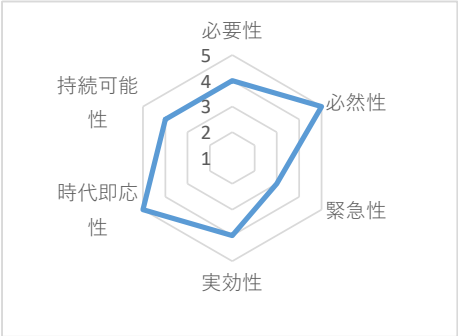
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←			→ 低い	
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・地域環境推進員の役割を明確にする必要がある。 ・コロナの影響有り。（R2、R3）

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善

２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	美化推進事業（カラスネット配布）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	カラスネットを配布し、ごみの散乱被害を防止することにより、住み心地の良い生活環境を確保する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0002　美化推進事業
		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額		
トータルコスト	直接事業費	418	1,440	283	436		
	概算人件費	513	394	641	641		
		931	1,834	924	1,077		
国庫/県支出金		0	0	0	0		
その他		0	0	0	0		
R４概算人件費	正規職員	0.08 人	391 千円				
	再任用職員	人	千円				
	会計年度任用職員	0.13 人	250 千円				
	その他	人	千円				
	合計		641 千円				

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	カラスネット配布箇所に対するカラス被害防除割合（%）	－	80	80	80	80
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

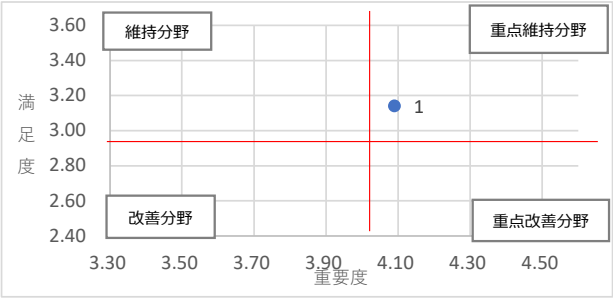
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

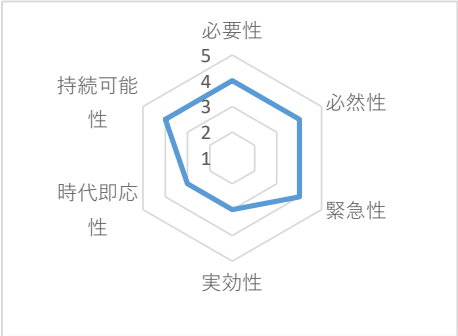
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・現在配布しているカラスネットでは、被害を低減できても無くすことはできない。 ・令和2年度に導入したファスナー付ネットの効果を検証しつつ、課題をクリアできる方法を研究する。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	不法投棄防止事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。			
事業概要	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0005　不法投棄防止事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	698	640	649	772
	概算人件費	655	655	1,570	1,573
		1,353	1,295	2,219	2,345
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.21 人	945 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	2.00 人	628 千円	
その他	人	千円	
合計		1,573 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	不法投棄パトロール実施回数（回）	52	54	52	51	54
②	ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数（回）	5	5	0	0	3

町民満足度調査結果（平成30年度）

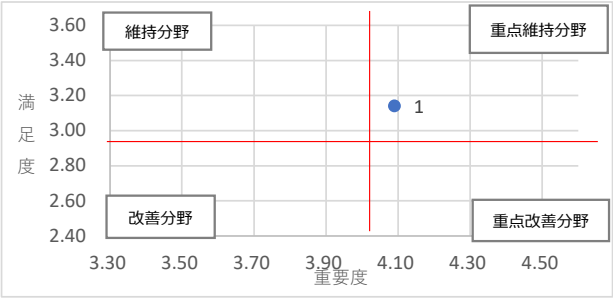
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

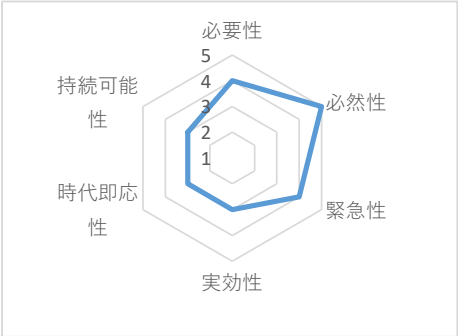
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□



成果・課題等	・不法投棄物の回収回数は年度ごとの波はあるものの大きく増加傾向が見られないことから、パトロールが抑止力の一因となっていると考えられる。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●	●	●		
事業対象	町民	目的	二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化を図る。			
事業概要	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0006　ごみ減量化・再利用事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	7,888	6,661	7,325	8,547
	概算人件費	1,063	1,324	1,493	1,592
		8,951	7,985	8,818	10,139
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.32 人	1,510 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	0.04 人	82 千円	
その他	人	千円	
合計		1,592 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	1人1日当たりのごみ排出量（g/人・日）	827	836	841	820	790
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

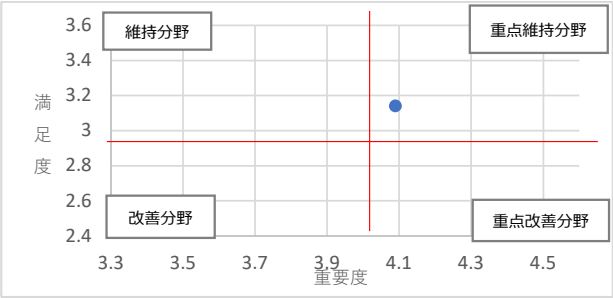
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

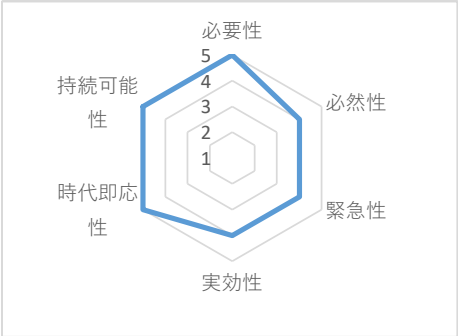
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い 5	4	3	2	低い 1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□



成果・課題等	計画通りの数値に達しているが、その明確な要因がコロナ禍における制限・緩和が、進んできたことによるものなのか、啓発の効果によるものなのか究明する必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	一般廃棄物処理事務事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	一般廃棄物処理に必要な事務を行い、町内から排出される一般廃棄物を適正処理する。			
事業概要	一般廃棄物処理に関連した事務を行う。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0007　一般廃棄物処理事務事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	1,181	1,770	945	1,005
	概算人件費	873	1,399	1,855	1,874
		2,054	3,169	2,800	2,879
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.40 人	1,707 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	0.08 人	167 千円	
その他	人	千円	
合計		1,874 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

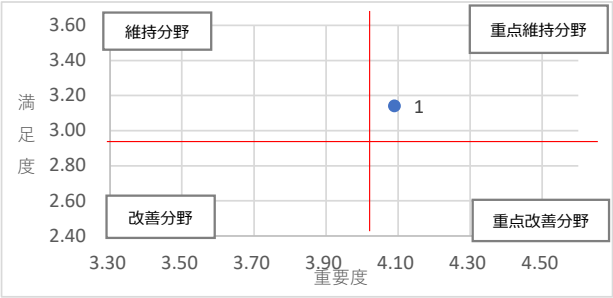
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

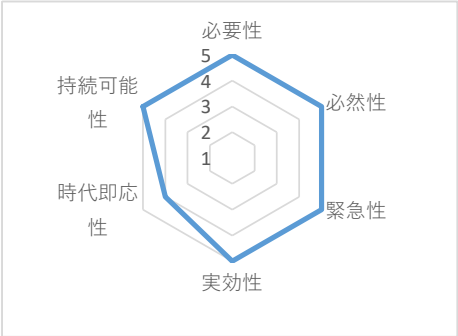
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←				→ 低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□



成果・課題等	・ごみ分別については一定の理解が得られていると考えられ、継続するよう啓発を推進する。 ・安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	じん芥収集事業			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民	目的	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正かつ迅速に収集運搬することで、町民の安心と信頼を確保する。			
事業概要	各家庭及び事業所等から排出されるじん芥の収集を行う。					

事業予算								
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0008　じん芥収集事業	
		R1決算額（千円）		R２決算額			R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	167,647		167,647			170,992	180,025
	概算人件費	1,034		1,035			1,184	1,189
		168,681		168,682			172,176	181,214
国庫/県支出金		0		0			0	0
その他		0		0			0	0
R４概算人件費	正規職員			0.25 人			1,189　千円	
	再任用職員			人			千円	
	会計年度任用職員			人			千円	
	その他			人			千円	
	合計						1,189　千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	収集予定日数に対する収集実行日数割合（%）	100	100	100	100	100
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

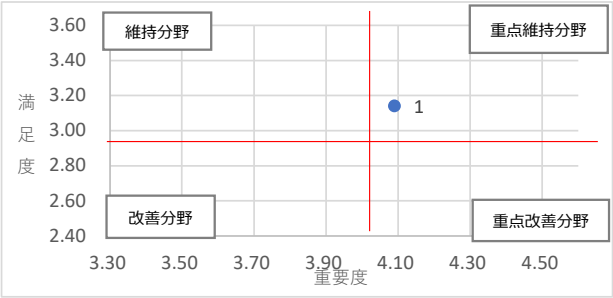
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

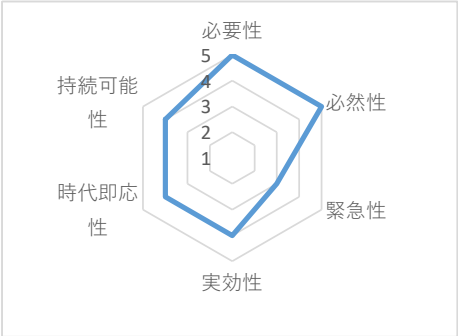
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・町内事業者に委託し事業を実施しており、トラブルなく今日まで継続している。 ・今後も安定したじん芥処理の維持を図る。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化推進事業			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●				
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0009　ごみ処理広域化推進事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	100,794	141,008	107,565	108,985
	概算人件費	367	923	311	673
		101,161	141,931	107,876	109,658
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.37 人	673 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		673 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

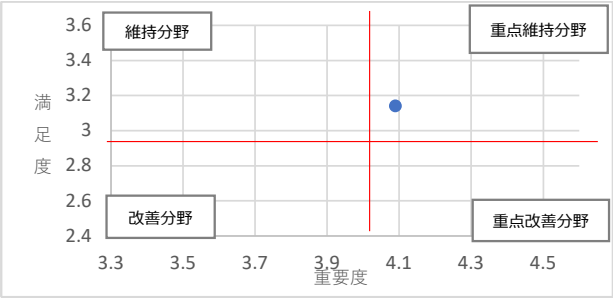
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

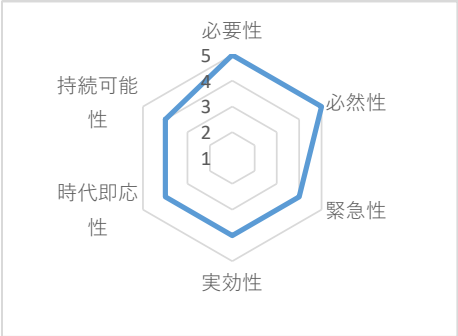
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・第二期実施計画に基づき他市町村と連携しながら事業を進めることができた。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	ウッドチップセンター運営事業　※			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	平塚市・大磯町・二宮町	目的	家庭や公園などから排出される剪定枝を焼却処理せず、チップ化することで、資源として発電燃料や堆肥原料にリサイクルする。			
事業概要	ごみ処理広域化に伴い、ウッドチップセンターの運営を行う。					

事業予算							
会計	0001	款項目	04	02	02	大事業	0010　ウッドチップセンター運営事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	61,480	61,467	60,846	60,413
	概算人件費	1,350	1,286	1,140	1,427
		62,830	61,467	61,986	61,840
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.65 人	1,427 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		1,427 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

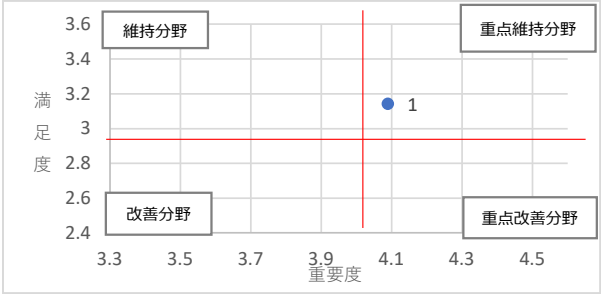
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い 5	4	3	2	低い 1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等	・DBO方式による委託のため、職員への負担が軽減している。 ・施設を広域で運転することにより、安定的かつスケールメリットを活かした事業運営ができている。 ・町職員不在のため、日々の巡回等を行い、運営管理（外部搬出含む）を進める必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費　※			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	収集ごみや環境衛生センターへのごみの持込みなどの対応を行う。			
事業概要	環境衛生センターの運営及び維持管理を行う。					

事業予算								
会計	0001	款項目	04	03	01	大事業	0001　環境衛生センター維持管理経費	
		R1決算額（千円）		R２決算額			R３決算額	R４決算額
	直接事業費	16,343		11,650			13,772	21,094
	概算人件費	2,935		2,218			1,520	1,811
トータルコスト		19,278		11,650			15,292	22,905
国庫/県支出金		0		0			0	0
その他		0		0			0	0
R４概算人件費		正規職員		0.09 人			1,811　千円	
		再任用職員		人			千円	
		会計年度任用職員		人			千円	
		その他		人			千円	
		合計					1,811　千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

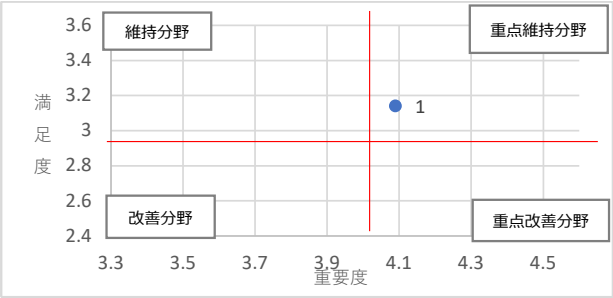
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

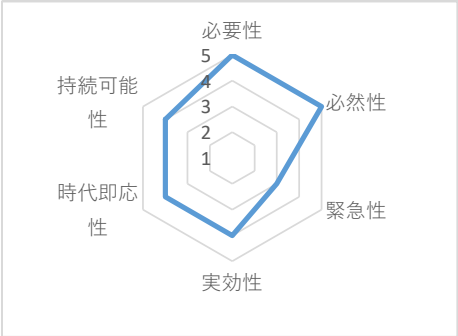
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←			→ 低い	
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができている。 ・不要かつ老朽化した設備の管理方法や処分が直近の課題となっている。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	じん芥受入分別事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに収集や持込みによって搬入されたごみの分別等を行う。			
事業概要	ごみの持ち込みの受付。ごみの搬入、分別、搬出。ごみの持ち込み場所、重機の維持管理。					

事業予算							
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業	0001　じん芥受入分別事業
		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額		
トータルコスト	直接事業費	21,165	23,729	24,100	23,802		
	概算人件費	1,049	783	396	444		
		22,214	23,729	24,496	24,246		
国庫/県支出金		0	0	0	0		
その他		0	0	0	0		
R４概算人件費	正規職員	0.13 人	444 千円				
	再任用職員	人	千円				
	会計年度任用職員	人	千円				
	その他	人	千円				
	合計	444 千円					

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

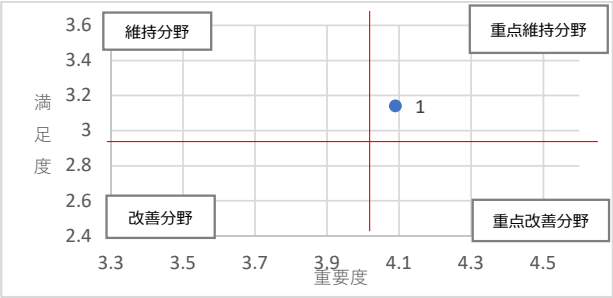
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

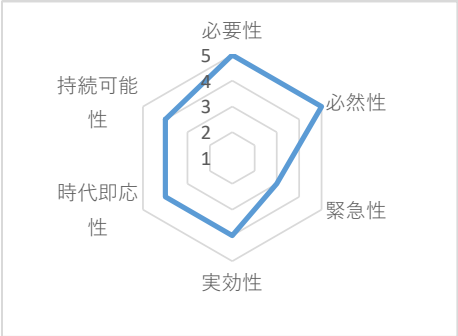
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←				→ 低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができている。 ・ごみの分別場所、ごみの保管スペースが不足している。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	じん芥運搬処理事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●					
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに搬入された、破砕ごみ・金属類・家電・廃蛍光管・乾電池・使い捨てライターの適切な運搬処理を行う。			
事業概要	ごみの運搬及び処理。					

事業予算							
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業	0002　じん芥運搬処理事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
	直接事業費	14,158	19,619	18,162	14,975
	概算人件費	4,243	3,403	2,494	2,617
トータルコスト		18,401	19,619	20,656	17,592
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.96 人	2,617 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		2,617 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	資源化の目標（%以上）	33.2	34.5	34.4	33.6	33.5
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

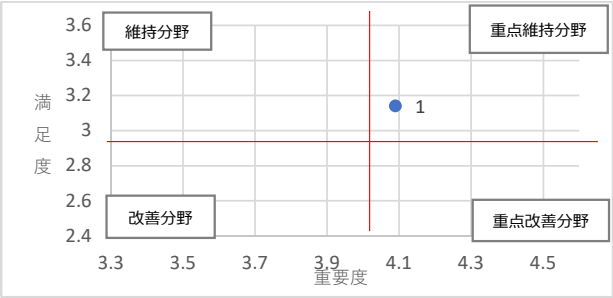
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

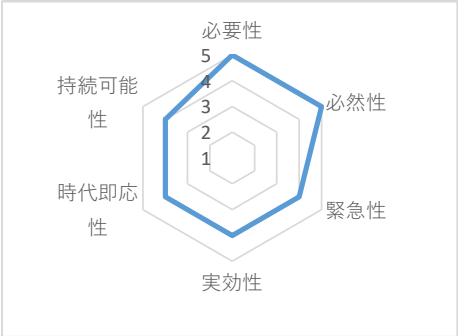
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←				→ 低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・社会情勢から資源ごみの取り引きに変化があるものの、安定した運搬処理がされている。 ・安定した資源ごみの処理を継続するため、処理先の確保が必要である。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	ごみ積替施設運営事業　※			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	可燃ごみを外部搬出する際、大型車に積み替える必要があるため、ごみ収集車から大型車（重量20ｔ）のコンテナへ積み替えるための中間処理施設。			
事業概要	ごみ積替施設の維持管理、可燃ごみの外部搬出を行う。					

事業予算								
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業	0003　ごみ積替施設運営事業	
		R1決算額（千円）		R２決算額			R３決算額	R４決算額
	直接事業費	53,497		52,415			55,493	52,456
	概算人件費	1,648		2,089			1,486	1,765
トータルコスト		55,145		52,415			56,979	54,221
国庫/県支出金		0		0			0	0
その他		0		0			0	0
R４概算人件費		正規職員		0.31 人			1,765　千円	
		再任用職員		人			千円	
		会計年度任用職員		人			千円	
		その他		人			千円	
		合計					1,765　千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	―					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

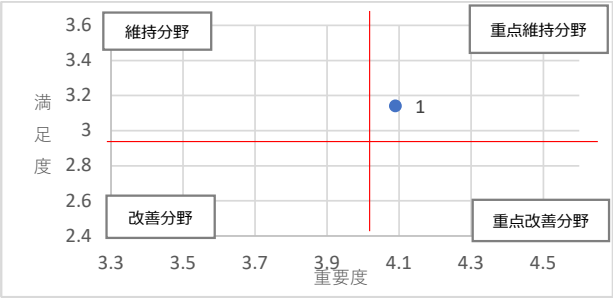
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

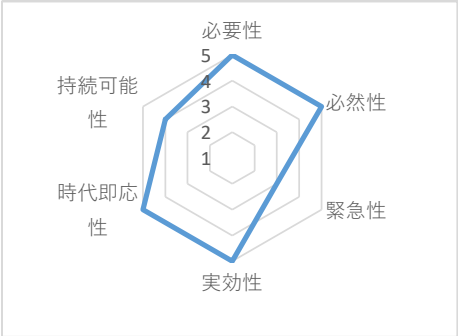
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・事業を委託しており、施設や地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。 ・可燃ごみを外部搬出し処分するために、必要な施設であり、安定した運営を図る。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	最終処分場施設運営事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	最終処分場の維持管理を図るため、委託及び職員による毎日の巡回を行い、安全管理を行う。			
事業概要	最終処分場及び浸出水処理施設の維持管理。浸出水の処理。浸出水、地下水等の水質測定。					

事業予算							
会計	0001	款項目	04	03	02	大事業	0004　最終処分場施設運営事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	4,619	5,964	5,144	3,253
	概算人件費	1,648	1,675	1,306	1,394
		6,267	5,964	6,450	4,647
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.08 人	1,394 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		1,394 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

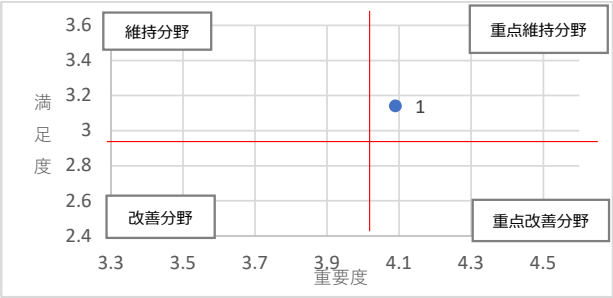
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

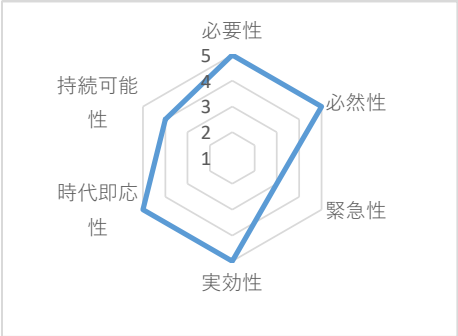
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←				→ 低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	・適切な管理により、浸出水の異常など他へ影響が見られない。地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。また、廃止することが困難な施設を今後も現状のまま維持続けるか、検討を要する。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	し尿処理事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民	目的	下水道投入施設維持管理、生し尿の収集運搬や処理を行う。			
事業概要	し尿処理施設等運転委託。生し尿の収集、脱水汚泥（処理後の残渣）の搬出。下水道投入施設、設備の補修や維持管理。					

事業予算								
会計	0001	款項目	04	03	03	大事業	0001　し尿処理事業	
		R1決算額（千円）		R２決算額			R３決算額	R４決算額
	直接事業費	534,258		38,305			42,944	41,902
	概算人件費	4,699		2,368			1,986	2,398
トータルコスト		538,957		38,305			44,930	44,300
国庫/県支出金		0		0			0	0
その他		0		0			0	0
R４概算人件費		正規職員		0.46 人			2,398 千円	
		再任用職員		人			千円	
		会計年度任用職員		人			千円	
		その他		人			千円	
		合計					2,398 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

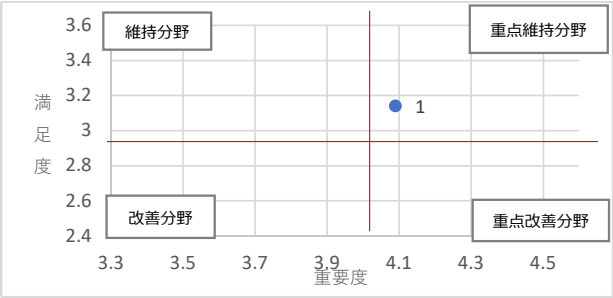
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

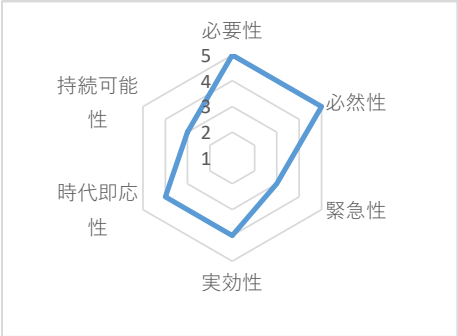
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□



成果・課題等	施設の維持管理を安定的に管理するため、作成した修繕計画をもとに、順次、設備の整備を進めていく。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	●
事業対象	町民	目的	国民運動であるクールチョイス(2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で23%削減するという目標)を推進することで、地球温暖化防止に資する。			
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運の向上を図る。また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0001　環境保全推進事業
		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額		
トータルコスト	直接事業費	65	118	2,516	2,493		
	概算人件費	2,959	2,729	2,756	3,015		
		3,024	2,847	5,272	5,508		
国庫/県支出金		0	0	0	0		
その他		0	0	0	0		
R４概算人件費	正規職員	0.75 人	3,015 千円				
	再任用職員	人	千円				
	会計年度任用職員	人	千円				
	その他	人	千円				
	合計	3,015 千円					

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	啓発イベントの実施数	3	5	2	3	4
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

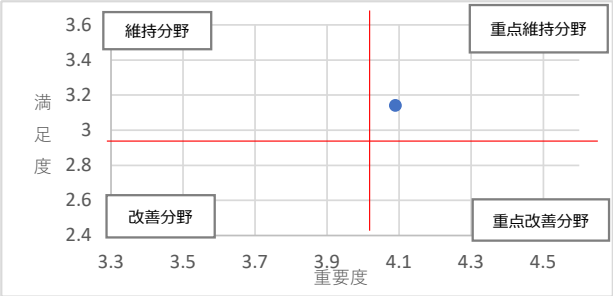
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

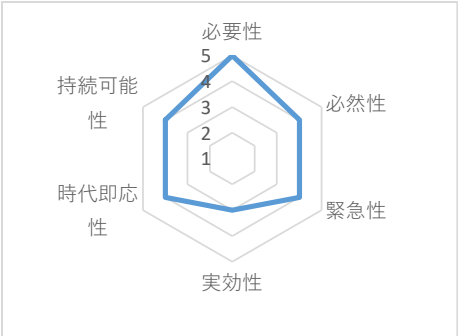
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ←			→ 低い	
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	講師の体調不良により、イベントが中止となったこともあったが、町ホームページやSNSの積極的な活用等により、一定の成果をあげることができた。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	公害防止対策事業				所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●		●	●	
事業対象	町民	目的	公害を未然防止、拡大防止することにより、町民が安心して暮らせる町づくりを推進する。			
事業概要	苦情・相談に迅速、適切に対応し環境保全を図るとともに、各種環境測定等の測定を実施し、町の環境を把握し公害を未然に防止を図る。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0004　公害防止対策事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	666	668	668	741
	概算人件費	972	952	787	782
		1,638	1,620	1,455	1,523
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.17 人	782　千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		782　千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合（%）	67	75	100	75	100
②	苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合（%）	100	100	100	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

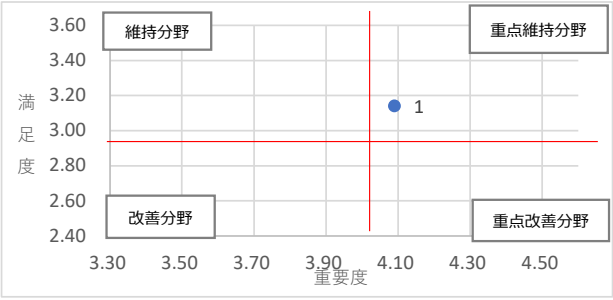
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

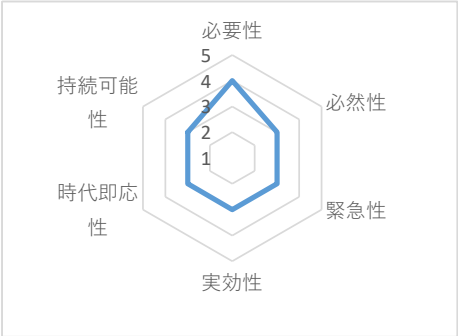
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□



成果・課題等	実施年度によって、環境基準値を超過している地点がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	美化推進事業（地域美化清掃）			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	団体や個人等が実施する地域ボランティア清掃を支援することにより、環境美化の保全を推進する。			
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0002　美化推進事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	0	165	0	198
	概算人件費	513	394	559	558
		513	559	559	756
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.08 人	391 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	0.08 人	167 千円	
その他	人	千円	
合計		558 千円	

	成果指標	基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	地域美化清掃の件数（件）	44	53	43	55	57
②	地域美化清掃の参加人数（人）	5332	6309	3285	3824	5448

町民満足度調査結果（平成30年度）

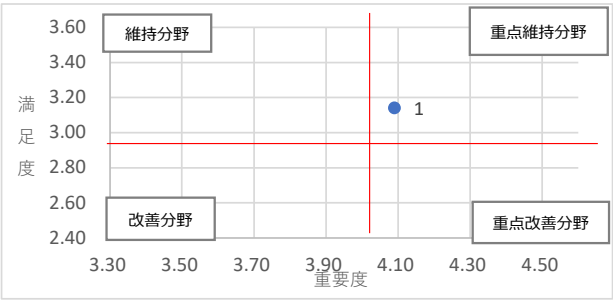
	該当施策	重要度	満足度
1	循環型社会の実現	4.09	3.14
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

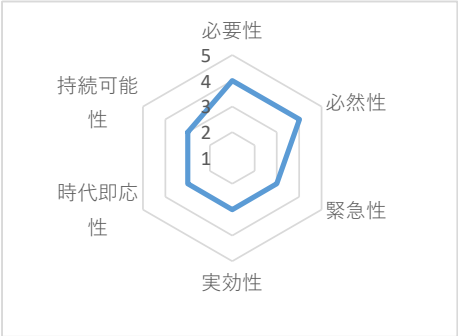
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い				低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□



成果・課題等	自発的に行動される方への支援により活動が活性化し、地域や葛川の環境が維持されている。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度　実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化の推進			所管課	生活環境課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。			
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。					

事業予算							
会計	001	款項目	04	02	02	大事業	0009　ごみ処理広域化推進事業

		R1決算額（千円）	R２決算額	R３決算額	R４決算額
トータルコスト	直接事業費	0	1,285	0	0
	概算人件費	526	1,419	1,022	1,150
		526	2,704	1,022	1,150
国庫/県支出金		0	0	0	0
その他		0	0	0	0

R４概算人件費			
正規職員	0.23 人	1,150 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		1,150 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R２実績	R３実績	R４実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

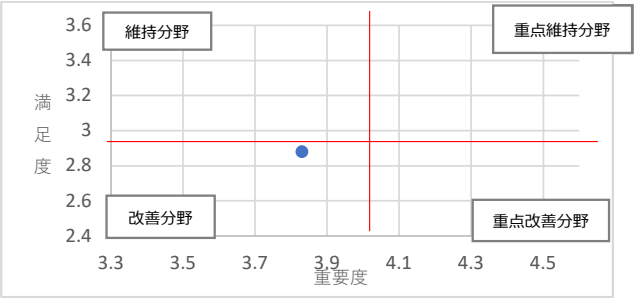
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	3.83	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

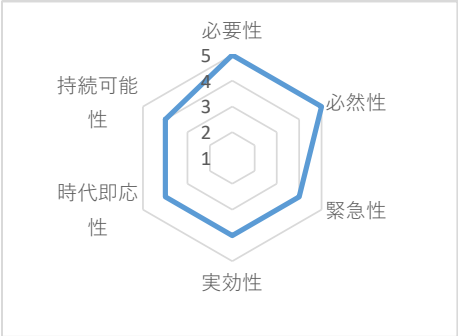
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要



分析

分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□



成果・課題等	第二期実施計画に基づき他市町と連携しながら事業を進めることが出来た。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
２次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			